

卒論 • 修論・ゼミ報告書

令和3年5月13日

指導教員認印

学科・専攻	電子情報工学科	学籍番号	1815008	氏名	安藤祐斗
題目	ディープラーニングの分散処理を実行する				

報告日までの取り組み

PDCAサイクル	設定目標 (P)	A-4台のスレイブPCでディープラーニングの例を実行する。 B-ディープラーニングを応用している論文を調べる,
	取組内容 (D)	A-コア数2、メモリ2GBずつで4台のスレイブで実際に実行ができた. B-アーカイブのdeeplearning×MASの論文が気になったのでMASについて調べていた.
	課題整理 (C)	A-実行速度は速くなったが、精度は少し下がったため、バッチサイズの調整が必要かもしれない. B-できれば日本語のものでディープラーニングの応用例の論文を探す.
	改善方策 (A)	A-正しいバッチサイズの設定方法を調べる. B-研究室にいる時間を増やす.

報告日

や り た い こ と を や る べ き こ と を	コメント (出席者)	
	備忘録 (自分)	